

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 21 日現在

機関番号：82606

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19H03878

研究課題名（和文）がん患者の最終段階を支える質問促進・意思決定モバイル介入：無作為化比較試験

研究課題名（英文）Development of a question prompting and decision-making mobile intervention to facilitate patients' communication towards their final stages of cancer: a randomized controlled trial

研究代表者

内富 庸介（Uchitomi, Yosuke）

国立研究開発法人国立がん研究センター・がん対策研究所・研究統括

研究者番号：60243565

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,000,000円

研究成果の概要（和文）：本研究はがん患者へのモバイル電子端末を利用した質問促進・意思決定支援と、電話での遠隔支援を含んだ介入の検証試験により、医療者の負担軽減や、人的資材の不足に対応した介入プログラム開発を目的とした。

症例集積を完了し、予定した介入は2023年1月にすべて終了した。症例登録264名、介入対象者は132名であった。介入は精神科医、公認心理師、看護師により提供された。介入は対象者の希望に沿って、電話もしくは対面での面談により実施され、平均的な介入時間は35分程度であった。介入プログラムへの対象者評価などの詳細な解析は2023年8月のフォローアップ調査の完了を待って公表予定である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

人生の最終段階を迎える年間37万人のがん患者に対して、圧倒的な医療資源不足が存在するためがん医療の現場で十分に対応できていなかった患者個別の目標、価値観や意向に関するコミュニケーションに焦点をあて、モバイル電子端末を利用して質問促進・意思決定支援を行い、介入効果を無作為化比較試験により検証する。本研究において、有効ながん患者のモバイルプログラムが開発されれば、人生の最終段階のQOL向上に資する重要な知見となる。加えて、医療現場の負担軽減に役立つことが期待される。介入を臨床に導入する際の促進・阻害因子を明らかにすることで医療アクセスの格差是正に資する。

研究成果の概要（英文）：The study aimed to develop an intervention program to reduce the burden on healthcare providers and to address the lack of human resources by conducting a trial to evaluate an intervention for patients with cancer that included question facilitation and decision-making support using mobile electronic devices and remote support by telephone.

We completed case enrollment and all planned interventions in January 2023. A total of 264 cases were enrolled and 132 were eligible for the intervention. Interventions were provided by psychiatrists, certified psychologists, and nurses. Interventions were conducted by telephone or in-person, according to the participants' preferences, and the average intervention time was about 35 minutes. Detailed analyses, including participant evaluations of the intervention program, will be scheduled after the completion of the follow-up survey in August 2023.

研究分野：精神腫瘍学、社会医学

キーワード：意思決定支援 質問促進 モバイル電子端末 アプリケーション ePRO

1. 研究開始当初の背景

(1) わが国最大の健康問題であるがん患者の人生の最終段階の医療の質を改善するコミュニケーション不足

がんはわが国の死因の第1位、総死亡の約30%を占めるがん死亡者数は年間37万人に上り、最大の健康問題である。少子高齢化を迎え、人生の最終段階をどのように迎えたいのか、患者が自らの目標や価値観を踏まえ望まれる医療・ケアを受けるために、前もって考え、周囲の信頼できる人たちと話し合うプロセスが、エキスパートコンセンサスガイドライン(厚生労働省)により国策として進められている。

これまでにがん患者・家族は医療者に共感行動を求め(Umezawa, Fujimori, Uchitomi et al., Cancer, 2015)、医師の共感行動は患者のストレスや前向きな対処行動に好影響を及ぼす一方で(Uchitomi et al., Cancer, 2000; Fujimori, Uchitomi, J Clin Oncol, 2014; Moore et al., Cochrane Database Syst Rev, 2018)、抗がん剤治療の中止、緩和ケア、治療困難、余命などの情報提供に関しては過半数が患者の望む時期に情報提供がない事を明らかにしてきた(内富, 2017)。そこで、行動変容目的に模擬演習を医師に2日間行うコミュニケーション技術研修会を実施してきたが、その修了者は2007-2016年の間に1,360名に留まり、年間37万人の患者との人生の最終段階に関する話合いを進める環境が整っていない。

(2) 患者への質問を促すための具体的質問集を用いたコミュニケーション支援

患者に質問を促進するという行動変容を目的としたアプローチとして Question asking Prompt List: QPLがある。病状や治療、治療中の生活、予後、目標、人生の最終段階における問題などに関して、患者、家族、医療者への面接調査から集約された網羅的重要質問集であり、意思決定への有効性が系統的レビューにより示されている(Brandes et al., Psychooncology, 2015)。申請者らは難治がんの診断を受けた初診患者を対象に、緩和・延命目的の初回抗がん剤治療の意思決定前の説明の際に用いるQPLを開発し、無作為化比較試験によりQPLの有用性を示してきた(Shirai, Fujimori, Uchitomi et al., Psychooncology, 2012)。

2. 研究の目的

少なくともわが国において年間37万人のがん患者が、適切な時期に人生の最終段階に関する適切な情報提供がないままに苦悩していることが推測される。エキスパートによるガイドラインは示されたものの、がん患者と医療者による話合いに関して有効な手法は示されていない。以上の現状を鑑み、本研究では、がん患者の生活の質を維持し、患者自らが掲げる目標に向かうための治療や療養に関する話合いを進める介入方法として、患者と医療者双方の負担を考慮し、費用対効果および携帯性にすぐれたモバイル電子端末を用いた協働意思決定支援を開発し、その有効性を無作為化比較試験で検証する。

3. 研究の方法

(1) 介入の構成要素の特定

関連調査の文献レビューから介入方略に関連する因子を特定した。

(2) 介入プログラム開発

文献レビューを踏まえ、がん患者会代表を含む関係者と協議し、質問促進リストと患者の価値観や意向の整理を含む介入プログラムの開発を進めた。

介入プログラムに含まれるのは45の質問項目と自由記載欄から構成される質問促進リスト、Good Death Inventoryの18要素を選択肢を含む価値観や意向の整理、および意向に一致した終末期ケアの概念図<Halpern (NEJM, 2019)>により作成された治療やケアの目標設定である。介入手順書は、がん患者と主治医における悪いニュースを伝える際のコミュニケーションの枠組みであるSHAREプロトコルおよび、アドバンスケアプランニングの研究にもとづくRespecting Choice Model (Johnson et al, Br J Cancer, 2018)、Hope for the best and prepare for the worstを提唱した論文(Back et al, Ann Intern Med, 2003)など海外先行研究を参考に作成した。介入者が介入プロトコルに沿って実施できているか確認し、問題点を共有し、介入の質を維持するため、定期的な介入者間のミーティングで専門家のスーパーバイズを受けた。

(3) 予備試験

検証試験を予定しているフィールドにおいて、5名の協力を得て予備試験を行った。試験の実施可能性、介入の改善点および実施可能性が確認できた。

(4) 検証試験

予備試験を受けてプログラムの修正を行い、アプリ上で実施可能な介入プログラムをリリースし、症例登録を完了した。

4．研究成果

本年度は予定通り症例集積を完了し、予定した介入プログラムの実施は2023年1月にすべて終了した。症例登録264名のうち、介入対象者は132名であった。介入は、精神科医、公認心理師、看護師により提供された。介入は対象者の希望に沿って、電話もしくは対面での面談により実施され、平均的な介入時間は35分程度であった。介入プログラムへの対象者評価などの詳細な解析は2023年8月のフォローアップ調査の完了を待って公表予定である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計25件（うち査読付論文 25件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 10件）

1. 著者名 Obama K, Fujimori M, Okamura M, Kadowaki M, Ueno T, Boku N, Mori M, Akechi T, Yamaguchi T, Oyamada S, Okizaki A, Miyaji T, Sakurai N, Uchitomi Y.	4. 巻 13(3)
2. 論文標題 Effectiveness of a facilitation programme using a mobile application for initiating advance care planning discussions between patients with advanced cancer and healthcare providers: protocol for a randomised controlled trial (J-SUPPORT 2104).	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 BMJ Open.	6. 最初と最後の頁 e069557
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2022-069557	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Okamura Masako, Fujimori Maiko, Goto Shinichi, Obama Kyoko, Kadowaki Midori, Sato Ayako, Hirayama Takatoshi, Uchitomi Yosuke	4. 巻 online ahead
2. 論文標題 Prevalence and associated factors of psychological distress among young adult cancer patients in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 1~7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951521002054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Sato Ayako, Fujimori Maiko, Shirai Yuki, Umezawa Shino, Mori Masanori, Jinno Sayaka, Umehashi Mihoto, Okamura Masako, Okusaka Takuji, Majima Yoshiyuki, Miyake Satoshi, Uchitomi Yosuke	4. 巻 online ahead
2. 論文標題 Assessing the need for a question prompt list that encourages end-of-life discussions between patients with advanced cancer and their physicians: A focus group interview study ? ERRATUM	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 1~3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951522000153	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Yoshihisa, Umemura Shigeki, Okizaki Ayumi, Fujisawa Daisuke, Kobayashi Naoko, Tanaka Yuko, Sasaki Chiyuki, Shimizu Ken, Ogawa Asao, Kinoshita Hiroya, Uchitomi Yosuke, Yoshiuchi Kazuhiro, Matsuyama Yutaka, Morita Tatsuya, Goto Koichi, Ohe Yuichiro	4. 巻 52
2. 論文標題 Early specialized palliative care for patients with metastatic lung cancer receiving chemotherapy: a feasibility study of a nurse-led screening-triggered programme	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 375 ~ 382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyab204	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Etoh Tsuyoshi, Fujiwara Masaki, Yamada Yuto, Wada Riho, Higuchi Yuji, Inoue Shinichiro, Kodama Masafumi, Matsushita Takanori, Yoshimura Yusaku, Horii Shigeo, Fujimori Maiko, Kakeda Kyoko, Shimazu Taichi, Nakaya Naoki, Tabata Masahiro, Uchitomi Yosuke, Yamada Norihito, Inagaki Masatoshi	4. 巻 30
2. 論文標題 Cancer care for people with mental disorders: A qualitative survey among cancer care and psychiatric care professionals in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Psycho-Oncology	6. 最初と最後の頁 2060 ~ 2066
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pon.5780	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue Keisuke, Kawashima Yoshitaka, Noguchi Hiroko, Fujimori Maiko, Akechi Tatsuo, Kawanishi Chiaki, Uchitomi Yosuke, Matsuoka Yutaka J.	4. 巻 75
2. 論文標題 Attitude to suicide prevention and suicide intervention skills among oncology professionals: An online cross sectional survey in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 401 ~ 402
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.13297	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okamura Masako, Fujimori Maiko, Hata Kotone, Mori Masanori, Mack Jennifer W., Prigerson Holly G., Uchitomi Yosuke	4. 巻 online ahead
2. 論文標題 Validity and reliability of the Japanese version of the Peace, Equanimity, and Acceptance in the Cancer Experience (PEACE) questionnaire	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 1 ~ 7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951521000924	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wada Riho, Uchitomi Yosuke, Yamada Norihito, Inagaki Masatoshi, Fujiwara Masaki, Yamada Yuto, Nakaya Naoki, Fujimori Maiko, So Ryuhei, Kodama Masafumi, Higuchi Yuji, Kakeda Kyoko	4. 巻 75
2. 論文標題 Validity and Reliability of the Japanese Version of the 12-item Self-administered World Health Organization Disability Assessment Schedule (WHODAS) 2.0 in Patients with Schizophrenia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Acta Medica Okayama	6. 最初と最後の頁 315 ~ 322
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18926/AMO/62226	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zenda Sadamoto, Uchitomi Yosuke, Morita Tatsuya, Yamaguchi Takuhiro, Inoue Akira	4. 巻 51
2. 論文標題 Establishment of a research policy for supportive and palliative care in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 538 ~ 543
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyab008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Harashima Saki, Fujimori Maiko, Akechi Tatsuo, Matsuda Tomohiro, Saika Kumiko, Hasegawa Takaaki, Inoue Keisuke, Yoshiuchi Kazuhiro, Miyashiro Isao, Uchitomi Yosuke, J Matsuoka Yutaka	4. 巻 51
2. 論文標題 Death by suicide, other externally caused injuries and cardiovascular diseases within 6?months of cancer diagnosis (J-SUPPORT 1902)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 744 ~ 752
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyab001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okamura Masako, Fujimori Maiko, Sato Ayako, Uchitomi Yosuke	4. 巻 21
2. 論文標題 Unmet supportive care needs and associated factors among young adult cancer patients in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Cancer	6. 最初と最後の頁 17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12885-020-07721-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujimori Maiko, Sato Ayako, Jinno Sayaka, Okusaka Takuji, Yamaguchi Takuhiro, Ikeda Masafumi, Ueno Makoto, Ozaka Masato, Takayama Yukiko, Miyaji Tempei, Majima Yoshiyuki, Uchitomi Yosuke	4. 巻 10
2. 論文標題 Integrated communication support program for oncologists, caregivers and patients with rapidly progressing advanced cancer to promote patient-centered communication: J-SUPPORT 1904 study protocol for a randomised controlled trial	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e036745 ~ e036745
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2019-036745	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujisawa Daisuke, Umemura Shigeki, Okizaki Ayumi, Satomi Eriko, Yamaguchi Takuhiro, Miyaji Tempei, Mashiko Tomoe, Kobayashi Naoko, Kinoshita Hiroya, Mori Masanori, Morita Tatsuya, Uchitomi Yosuke, Goto Koichi, Ohe Yuichiro, Matsumoto Yoshihisa	4. 巻 10
2. 論文標題 Nurse-led, screening-triggered, early specialised palliative care intervention programme for patients with advanced lung cancer: study protocol for a multicentre randomised controlled trial	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e037759 ~ e037759
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2020-037759	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuda Y, Tanimukai H, Inoue S, Inada S, Sugano K, Hasuo H, Yoshimura M, Wada S, Dotani C, Adachi H, Okamoto Y, Takeuchi M, Fujisawa D, Kako J, Sasaki C, Kishi Y, Akizuki N, Inagaki M, Uchitomi Y, Matsushima E, Okuyama T. 2020 Mar 26. pii: hyaa003. doi: 10.1093/jjco/hyaa003.	4. 巻 50
2. 論文標題 JPOS/JASCC clinical guidelines for delirium in adult cancer patients: a summary of recommendation statements.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 586-593
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyaa003.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashimoto H, Abe M, Tokuyama O, Mizutani H, Uchitomi Y, Yamaguchi T, Hoshina Y, Sakata Y, Takahashi TY, Nakashima K, Nakao M, Takei D, Zenda S, Mizukami K, Iwasa S, Sakurai M, Yamamoto N, Ohe Y.	4. 巻 21
2. 論文標題 Olanzapine 5 mg plus standard antiemetic therapy for the prevention of chemotherapy-induced nausea and vomiting (J-FORCE): a multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3 trial.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Lancet Oncology	6. 最初と最後の頁 242-249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/S1470-2045(19)30678-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuoka YJ, Okubo R, Shimizu Y, Tsuji K, Narisawa T, Sasaki J, Sasai H, Akashi-Tanaka S, Hamaguchi T, Iwasa T, Iwata S, Kato T, Kurotani K, Maruyama D, Mori A, Ogawa A, Sakurai N, Shimazu T, Shimizu C, Tabuchi T, Takahashi M, Takano T, Tatematsu N, Uchitomi Y, Watanabe C, Fukui T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Developing the structure of Japan's cancer survivorship guidelines using an expert panel and modified Delphi method.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Cancer Survivorship	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11764-019-00840-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Higuchi Y, Fujiwara M, Nakaya N, Fujimori M, Hayashibara C, So R, Shinkawa I, Sato K, Yada Y, Kodama M, Takenaka H, Kishi Y, Kakeda K, Uchitomi Y, Yamada N, Inagaki M.	4. 巻 19
2. 論文標題 Change in smoking cessation stage over 1year in patients with schizophrenia: a follow up study in Japan.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12888-019-2351-9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishijima TF, Tamura K; Geriatric Oncology Guideline-establishing (GOGGLE) Study Group .	4. 巻 49
2. 論文標題 Landscape of education and clinical practice in geriatric oncology: a Japanese nationwide survey.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 1114-1119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyz123.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara M, Inagaki M, Shimazu T, Kodama M, So R, Matsushita T, Yoshimura Y, Horii S, Fujimori M, Takahashi H, Nakaya N, Kakeda K, Miyaji T, Hinotsu S, Harada K, Okada H, Uchitomi Y, Yamada N.	4. 巻 9
2. 論文標題 A randomised controlled trial of a case management approach to encourage participation in colorectal cancer screening for people with schizophrenia in psychiatric outpatient clinics: study protocol for the J-SUPPORT 1901 (ACCESS) study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2019-032955	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Harashima S, Fujimori M, Akechi T, Matsuda T, Saika K, Hasegawa T, Inoue K, Yoshiuchi K, Miyashiro I, Uchitomi Y, Matsuoka YJ.	4. 巻 9
2. 論文標題 Suicide, other externally caused injuries and cardiovascular death following a cancer diagnosis: study protocol for a nationwide population-based study in Japan (J-SUPPORT 1902).	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2019-030681	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori M, Fujimori M, van Vliet LM, Yamaguchi T, Shimizu C, Kinoshita T, Morishita-Kawahara M, Inoue A, Inoguchi H, Matsuoka Y, Bruera E, Morita T, Uchitomi Y.	4. 巻 125
2. 論文標題 Explicit prognostic disclosure to Asian women with breast cancer: A randomized, scripted video-vignette study (J-SUPPORT1601).	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer	6. 最初と最後の頁 3320-3329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cncr.32327	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oshima E, Takenoshita S, Iwai R, Yabe M, Imai N, Horiuchi M, Takeda N, Uchitomi Y, Yamada N, Terada S. Int Psychogeriatr.	4. 巻 32
2. 論文標題 Competency of mCI patients to consent to cholinesterase treatment.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Psychogeriatrics	6. 最初と最後の頁 211-216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1041610219000516	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okubo R, Wada S, Shimizu Y, Tsuji K, Hanai A, Imai K, Uchitomi Y, Fujiwara Y, Tsugane S, Matsuoka YJ.	4. 巻 49
2. 論文標題 Expectations of and recommendations for a cancer survivorship guideline in Japan: a literature review of guidelines for cancer survivorship.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 812-822
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jjco/hyz070.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori M, Fujimori M, Ishiki H, Nishi T, Hamano J, Otani H, Ueno Y, Oba A, Morita T, Uchitomi Y. J Pain Symptom Manage.	4. 巻 57
2. 論文標題 The Effects of Adding Reassurance Statements: Cancer Patients' Preferences for Phrases in End-of-Life Discussions.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Pain and Symptom Manage.	6. 最初と最後の頁 1121-1129.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpainsymman	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori M, Fujimori M, Ishiki H, Nishi T, Hamano J, Otani H, Ueno Y, Oba A, Morita T, Uchitomi Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 Adding a Wider Range and "Hope for the Best, and Prepare for the Worst" Statement: Preferences of Patients with Cancer for Prognostic Communication.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Oncologist	6. 最初と最後の頁 943-952
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1634/theoncologist.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 佐藤綾子, 藤森麻衣子, 神野彩香, 奥坂拓志, 山口拓洋, 池田公史, . . . 内富庸介.
2. 発表標題 急速進行性がん患者・家族と医師の共感的コミュニケーション促進のための統合支援プログラムの有効性を検証する無作為化比較試験
3. 学会等名 緩和・支持・心のケア 合同学術大会2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 沖崎歩, 松本禎久, 梅村茂樹, 小林直子, 藤澤大介, 森田達也, . . . 内富庸介.
2. 発表標題 進行がん患者に対するスクリーニングを組み合わせた看護師主導による治療早期からの専門的緩和ケア介入プログラムの臨床的有用性を検証する無作為化比較試験
3. 学会等名 緩和・支持・心のケア 合同学術大会2020
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	藤森 麻衣子 (Fujimori Maiko) (40450572)	国立研究開発法人国立がん研究センター・がん対策研究所・室長 (82606)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------